



元気とタイムリーな情報を提供する 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成24年12月10日 第592号「週刊五十嵐レポート」

すごい会議

「すごい会議」(2005年、大橋禪太郎著)という本がある。会社を立て直すお手伝いをするときにこの「すごい会議」のやり方を引用している(第274号に登場)。いくつかのテーマに対して、書く時間を与えてから一人ずつ発表する。これだと人の意見を聞くことなく(人にじゃまされない)自分の考えを紙に書くことができる。普通の会議だと話す人が決まっており、多くの人は意見を述べない。

会議には、事業部の店舗(営業)部隊と製造部隊が集まった。この事業部は近年になって営業利益の段階で赤字に転落していた。

まず第1問。「なぜ我々の事業部は赤字に転落したのだろうか?」

10分間の時間で紙に自分の意見を書いてもらう。

10分後各自に意見を述べてもらう。いろいろな意見が出てくる。現実を直視する。

次に第2問。「店舗(営業)から製造部へ望むもの」「製造から店舗(営業)へ望むもの」。(営業と製造との関係が最大のネック)

同じように10分間の時間で意見を紙に書く。お互いに多くの意見が出てきた。 安定しない商品(商品にムラがある) 配送の時間が一定しない

受発注のミスが多発 等々。改善する課題が見えてきた。

第3問。「自らの持ち場でどうしたら黒字にできるだろうか?」

各自、前向きな意見が出てきた。考える時間を作り、他人に邪魔されずに自分の意見が言える。各自の参画意識が出てきた。

この会議は終了になるが、ここからがスタート。誰が何をいつまでにやるか。それらが決まった。責任者を任命し、計画を立てて、実行に進む。そしてフォローアップ。

さあ、社員の力を結集して、黒字化へ向かってGO!

ちょっと
気になる出来事

平成24年12月7日(金)、日経新聞のスポーツ欄、三浦知良の「サッカー人として」より。今回は「プロに『明日』はない」。

明日が見えにくければ不安にもなる。保証がない。

不安や危機感と隣り合わせの人こそ、強くなれるじゃないかな。

僕にも常に危機感がある。

それが「挑戦しなければ」との心を生む。

挑戦は必ずリスクが伴うけど、

やらずに後悔するよりやって後悔したい、やらなきゃ
もともと保証がないのがプロ。

その代わり夢がある。

その通り! 不安や危機感が自分を強くする。1年1年が勝負。



企業はリスクを負担する

事業家にとっては「危険を冒す」と「日々の糧を稼ぐ」ことは同じ意味している。

リスク(危険)という語が、語源的には「きょうの糧を稼ぐ」というアラビア語から出ているのはけっして偶然ではない。

いかなる事業においても、問題の核心は最大利潤にあるのではなく、むしろ、経済活動に伴う危険性を負担し、その損失を回避するに足るだけの利潤をあげうるにはどうしたらよいかという点にある。

(現代の経営)

ドラッカー経営名言集より

週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行 月刊五十嵐レポートダイジェスト

町コンランチェスター経営戦略塾「会社成功塾」毎週日曜日 午前10時~12時。

町コン・ランチェスター経営戦略セミナー 每月東京開催

株式会社五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051 東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

